

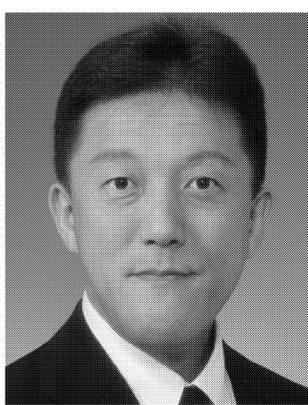
九州のよろず支援拠点

よろず支援拠点は全国の中小企業や小規模事業者のさまざまな相談に対応する新しい支援拠点。2014年度に中小企業庁が整備した。中小企業や小規模事業者が抱える売り上げ低迷や資金繰りなどの経営課題を分析し総合的、先進的にアドバイスする。専門家による支援チームを配置し、既存の支援機関では十分に解決できない再生や経営相談にも応じる。解決策を提示し、フォローアップも行う頼もしい存在だ。九州各県のよろず支援拠点の活動を見る。

地域の小規模企業は、暮らしを支える仕事と雇用を作り出す地域の元気の担い手である。本年6月に「小規模企業振興基本法」が成立し、九州では、長崎県が長崎県商工会連合会内に、それ以外の各県では、各県中小企業支援センター内に、よろず支援拠点の活動を開始した。

九州では、県域が広い、離島が多いなどの特徴があるため、市町村や他の官民の支援機関と連携し、出張相談会支所の設置など、県ごとの実情にあわせた工夫がされ、利用者目線に配慮を上げようとする独自の取り組みがみられる。

よろず支援拠点の特徴は二つある。一つは、小規模企業が抱える最大の課題である「売上拡大」の対応にある。



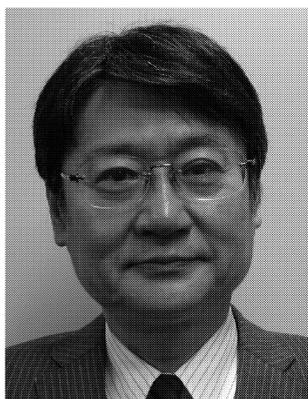
九州経済産業局長
よし お
岸本 吉生 氏

地域の 小規模企業を応援

中小企業支援に優れた能力・知見・実績を有するコーディネーターを中心に、サブコーディネーターや拠点の職員が協力しながら相談に応じ、商品の魅力を伝えるなどの仕方や顧客の獲得方法など、最適な解決策を提示する。もう一つは、どのような相談でも、他の支援機関のにも活用しつつ、総合力で解決していくことである。

小規模企業の店主は、地域の経営指導員の皆さまには、何かお困りごとがあれば、よろず支援拠点にご相談ください。

また、9月12日に、まち・ひと・しごと創生本部が発足した。これから集約、市町村の元気が九州、そして日本の元気がつながるよう、九州経済産業局をあげて取り組む。



中小企業基盤整備機構九州本部本部長
さいとう むつひさ
齊藤 三 氏

支援の モデルケースに

よろず支援拠点による企業支援は、コーディネーターと企業が一緒になって取り組む。それぞれの企業が持つ強みを明らかにし、分析した上で課題を整理する。そして具体的な提案を行う。コーディネーターは企業と率直に話し合う。特に、そのような活動の機会が少なかった小規模事業者にとって、支援は意義深いものとなるだろう。企業によつては必要最低限の売り上げを確保することが目的かも知れない。中小企業基盤整備機構は、企業さまさまに合った支援を継続していく。九州は優良な農水産物を使った食品が多い。よろず支援には農商工連携や地域資源の活用につながるような相談が多く寄せられるを期待している。

相談の内容に応じて、さまざまな機関と連携する。連携先は工業試験場や大学、金融機関などで連携実績を生かす。支援機関のネットワークの網の目を細かくしていきたい。今後、よろず支援による、さまざまな連携事例が生まれる。それらは商工会や商工会議所にて企業支援事業のモデルとなり、支援機能の強化につながるだろう。よろず支援を利用する企業には自主性を持ってほしい。企業は本来、支援によってではなく、お客さまに選ばれて事業を継続していく。九州は優良な農水産物を使った食品が多い。よろず支援には農商工連携や地域資源の活用につながるような相談が多く寄せられるを期待している。



よろず支援拠点での相談の様子

福岡県

販路見直しで すでに改善事例

福岡県大コーポネーターは「小規模事業者を既存の支援体制を受けるレベルまで引き上げたい。世の中にもよる支援をはじめ、さまざまな支援体制があることを、一緒に勉強していきたい」と訴える。

相談件数は開設後の7月は207件。以降8月153件、9月157件と堅調に推移。相談内容は売り上げ拡大が最も多く経営改善、広告戦略、資金繰りと続く。コーディネーター、サブコーディネーター、コンサルタントの6人体制。

すでに改善事例もある。「杜仲茶加工品の販路見直しの相談に、地域資源と雇用拡大に向けた自治体との連携を提案。相談者から事業として可能性が広がった」との評価を受けた。

佐賀県

あなたの経営企画室 汗を流す支援を

5月の段階で目標計画を立て、拠点のロコマークから、ホームページ作成まで取り組んだ。あなたの経営企画室がキャッチアップです。「開業後だけでなく実際の汗を流す支援を心がけている(今春福岡コーディネーター)」

相談件数は6月の開設以降毎月約100件。相談者数も70~80人を超えた。コーディネーターは、モノづくりやITの専門家、元銀行員など6人。このほか、ベンチャー企業経営者やロカマラマ、料理研究家などゲストアドバイザーも多彩に揃った。

今夏は、太良町の観光客の増加のために、カミソリがうまくなる評判のオスの竹崎カミをPR。一定の成果を上げた。

長崎県

提案が奏功 実績を積み上げ

團野龍一コーディネーターは相談件数はまだ準備中。しかし、実績は着実に積み上げている。と自信を語っている。例えは健康茶の販路事業者の売り上げ拡大の相談。美容室などを通じて直販を行っていたが伸び悩んでいた。そこで、ある保険組合に働きかけて、推奨商品にしてもらうと、提案。これが功を奏して売り上げ拡大につながった。

長崎県は長崎市や対馬市、五島市など離島も多く地域が広い。そこで相談拠点を街のコミュニティセンターや図書館を活用し、それらに出向く。諫早市や対馬市で出張相談を始めた。大村市では商店街のコミュニティスペースを活用する。8月から離島への出張相談も始めた。

熊本県

収益拡大へ 金融と共同サポート

コーディネーターはサブコーディネーターを合わせて計4人。製造業、IT、サービス、農業、金融の専門家を配置。毎月の相談件数は100件前後で推移。半数は小規模事業者が占め、特にサービス業が多い。相談内容は売り上げ向上と資金繰りが多く「小規模事業者の収益拡大が最大の課題(鹿子木康コーディネーター)」と訴える。

同拠点は熊本市中心部から約15分離れた所にあり、必要に応じて出張対応する(同)。第二地帯や雇用金庫など共同サポート体制を構築。八代市、水原市、人吉市など県南地域の相談に対して、11月には信用保証協会八代支所をサブ拠点として開設する計画だ。

大分県

事例紹介に フェイスブック作成

「相談者の7割が小規模事業者。たくさんの方に相談に来てもらい、売り上げアップに努力したい(鎌野正則コーディネーター)」相談件数は6月の7件から、9月には100件を超え4か月間で約340人が訪れた。

同拠点は6月に開設記念セミナーを開催。その後、フェイスブックを作成し、守秘義務の範囲で事例紹介を行っていた。コーディネーターはサブコーディネーター3人を含む4人。広告や写真、IT、イベント企画の専門家。今のところ大分市内からの相談者が過半数。大分県はまず、中心部から相談者を拡大していく。次いで小規模事業者が多い別府市向けの告知を強化する。

宮崎県

首都圏への販路へ ネットワークづくり

相談件数は6~8月で約400件と順調に推移。相談内容は売り上げ拡大と販路開拓が約4割。8月の相談件数のうち67割をピエーターが占めた。

宮崎は面積14位の県面積。この広いエリアを訪問。コーディネーター1人、サブコーディネーター3人の計4人が担当する。そのうち都城市、延岡市、日南市などにはサブ拠点開設を、曜日指定で出張相談を行う計画だ。

課題は首都圏などへの販路開拓。今後、中央との独自のネットワークを構築して地道に取り組み(尾友太コーディネーター)。中小規模や家族経営ドヒンズ相談ステーション(宮崎県)なども連携する。

鹿児島県

他支援機関と連携で 離島支援も

6月30日開設した。コーディネーター1人、サブコーディネーター3人の4人体制。相談件数は7月が166件、8月は167件、推移。相談内容の半分は売り上げ向上について、食や農業に関する相談内容が多いのが特徴。

支援対象エリアに奄美市や徳之島町など離島が含まれる。9月には離島の商工会議所と連携して、現地でよろず支援しつつPR活動を行った。今後も地域の商工会との連携を強化し離島にアプローチする。加藤剛コーディネーターは各県から鹿児島に来た。そのため鹿児島県は地元産品をもっと広く向かって売る方法を考えることが重要」と感じている。

都道府県	受け入れ機関	住 所
福岡県	福岡県中小企業振興センター	福岡市博多区吉塚本町9-15 TEL: 092-622-7809
佐賀県	佐賀県地域産業支援センター	佐賀市鍋島町八戸溝114 TEL: 0952-34-4433
長崎県	長崎県商工会連合会	長崎市桜町4-1 TEL: 095-828-1462
熊本県	くまもと産業支援財団	上益城郡益城町大字田原2081-10 TEL: 096-286-3355
大分県	大分県産業創造機構	大分市東春日町17-20 TEL: 097-537-2837
宮崎県	宮崎県産業振興機構	宮崎市佐土原町東上那珂16500-2 TEL: 0985-74-0786
鹿児島県	かごしま産業支援センター	鹿児島市名山町9-1 TEL: 099-219-3740
沖縄県	沖縄県産業振興公社	那覇市字小塚1831-1 TEL: 098-859-6237

(2014年10月1日現在)

話せる・見つかるとやる気になる 無料経営相談所 大分県よろず支援拠点

097-537-2837

大分県東春日町17-20 ソフトパークセンタービル (公財) 大分県産業創造機構内
月～金曜日 午前9時～午後5時 休館日 土・日曜日・祝祭日

Facebook ページ <https://www.facebook.com/yorozu.oita> 大分県よろず支援拠点

中小企業・小規模事業者のための 無料相談所

中小機構は「よろず支援拠点」をサポートします!

各県で活動する「よろず支援拠点」の全国本部を中小機構が担っています。

創業・新事業展開をサポート!

- 地域資源・農商工連携・新連携の支援
- 専門家の派遣 ■ インキュベーション
- 販路開拓支援・ビジネスマッチング
- ファンド
- ものづくり支援

応援します 中小企業と地域の活力!

成長・発展をサポート!

- 中小企業大学校(直方校、人吉校)
- 海外展開支援 ■ 知的資産経営支援
- 事業承継円滑化支援

もしもに備えて、セーフティネットをサポート!

- 小規模企業共済制度
- 経営セーフティ共済 (中小企業倒産防止共済制度)

地域活性化をサポート!

- まちづくり・中心市街地の活性化支援
- 高度化事業

これからネットを使って販路拡大

eコマースセミナー

参加費無料

各地で開催中!

お問い合わせ先

中小機構 九州
独立行政法人 中小企業基盤整備機構九州本部
〒812-0038 福岡市博多区祇園町4-2 サムティ博多祇園BLDG.
TEL: 092-263-1500
HP <http://www.smrj.go.jp/kyushu/>